

田和山の森から

文化祭で「丸太切り!」

丸太切り体験と活動状況の展示



丸太切り 1



丸太切り 2



展示（活動のようす）

去る30日（日）乃木文化祭が公民館で開催されました。天候にも恵まれ沢山の人が集まり盛大に開催されました。本会でも、この行事に協力して子どもの丸太切り体験と日頃の活動状況の掲示を行いました。掲示は屋内でしたが、丸太切りは広場の一面に場所を設けたところ、開場早々から親子ずれ、友だち同士、姉妹等次々とやって来て取組みました。比較的女の子が多く、また、大丈夫かなと思われる小さい子が一生懸命最後まで頑張っていました。切り取った木を、コースターや飾りにしたいと持ち帰りました。

自然環境学習・・・松徳学院中等部

ベンチ造りと森の活動

松徳学院の中等部の生徒が、山居川沿いの遊歩道にベンチを設置しようと計画しました。学院では乃木公民館と話合った結果、里山を育てる会の協力を得て、材料を田和山の森から運び出すことになりました。本会では公民館から依頼があり、次の11月11日（金）の作業日にベンチの材料を準備することにしました。

松徳学院では環境学習の一環として、町づくりや田和山の整備活動にも参加し学習する計画です。今後、具体的な進め方を考え、本会の作業日に併せて何回か一緒に活動することになります。ご協力お願いします。

田和山の樹木第34回 ヤマモミジとウリハダカエデ

11月になり田和山も紅葉の季節となりました。紅葉といえばモミジがその代表の樹木です。田和山に自生するモミジは、ヤマモミジとウリハダカエデの2種となります。

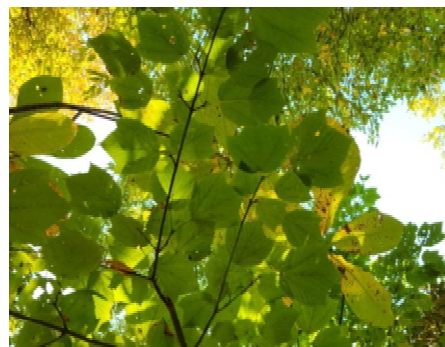
ヤマモミジは、日本海側の山地に多く分布し、太平洋側に分布するイロハモミジ、オオモミジと共に日本のカエデを代表する樹種です。新緑や紅葉の美しさを観賞するため、庭木や盆栽として用いられ多くの園芸品種があります。紅葉は同一の木でも日の当たり具合によって紅、オレンジ、黄色が見られます。

ウリハダカエデは、本州から九州まで広い範囲にわたって自生するカエデで、樹皮が瓜に似ているためウリハダカエデと名付けられたといわれています。

紅葉は遅めですが、明るめの赤や黄色で、葉が大きい目立ちます。

田和山ではヤマモミジに比べウリハダカエデ（雌雄別株）は数が少ないため、分布を広げることは難しそうです。

【写真上がヤマモミジで下左がウリハダカエデ、下右が木肌です】



(竹下記)



今後の活動予定

11/11（金）13：30～、11/19（土）9：00～、11/25（金）13：30～、12/2（金）13：30～、12/9（金）13：30～、
12/17（土）9：00～、12/23（金）13：30～仕事納め、 1/13（金）13：30～仕事始め